

計算のじゅんじょ⑤（しあげ）

小4／計算の きまりを つかう 12もん

なまえ _____

ひづけ _____

計算の きまり

- ① $\times \cdot \div$ は、 $+$ $\cdot$ $-$ より 先に 計算する
 - ② () が あれば、() の 中を いちばん 先に
 - ③ 同じ なかまは、左から じゅんに 計算する
 - ④ () の 中でも、 $\times \cdot \div$ は $+$ $\cdot$ $-$ より 先
 - ⑤ はなれた $\times \cdot \div$ が 2つ あれば、いっしょに 1回で 計算してよい
- 下線の れい $30 - \underline{6 \times 3}$

どこから 計算するか 考えて、先に 計算する ところに 下線を ひき、とちゅうの 式を 書こう。

① $59 - 27 + 33 - 11$

= _____
= _____ =

② $58 - 2 \times 8 + 18$

= _____
= _____ =

③ $94 - 31 - 34 + 24$

= _____
= _____ =

④ $54 - 60 \div 5 - 24$

= _____
= _____ =

⑤ $75 - (4 + 9) \times 5$

= _____
= _____ =

⑥ $(29 - 7) \times 6 + 15 \div 5$

= _____
= _____ =

⑦ $92 - 5 \times (11 - 4)$

= _____
= _____ =

⑧ $(26 - 3 \times 6) \times 4$

= _____
= _____ =

⑨ $57 - 31 + 8 \times 3$

= _____
= _____ =

⑩ $58 - 26 + 36 - 29$

= _____
= _____ =

⑪ $(57 - 5 \times 8) \times 2$

= _____
= _____ =

⑫ $60 + (41 - 5) \div 3$

= _____
= _____ =

かかった 時間 () 分 まちがい () こ 下線を ひいた? ☐



計算のじゅんじょ⑤（しあげ）れんしゅう②

小4／計算の きまりをつかう 12もん

なまえ _____

ひづけ _____

計算の きまり

- ① $\times \cdot \div$ は、 $+$ $\cdot$ $-$ より 先に 計算する
- ② () があれば、() の 中を いちばん 先に
- ③ 同じ なかまは、左から じゅんに 計算する
- ④ () の 中でも、 $\times \cdot \div$ は $+$ $\cdot$ $-$ より 先
- ⑤ はなれた $\times \cdot \div$ が 2つ あれば、いっしょに 1回で 計算してよい

下線の れい $30 - \underline{6 \times 3}$

どこから 計算するか 考えて、先に 計算する ところに 下線を ひき、とちゅうの 式を 書こう。

① $(36 - 4 \times 2) \times 5$

= _____
= _____ =

⑦ $95 - 5 \times 6 + 26$

= _____
= _____ =

② $81 - 14 - 23 + 13$

= _____
= _____ =

⑧ $73 - (6 + 3) \times 2$

= _____
= _____ =

③ $47 - (4 + 2) \times 3$

= _____
= _____ =

⑨ $34 + 35 - 11 - 22$

= _____
= _____ =

④ $96 - 11 + 5 \times 6$

= _____
= _____ =

⑩ $(52 - 8 \times 5) \times 2$

= _____
= _____ =

⑤ $(46 - 14) \div 2 + 4 \times 8$

= _____
= _____ =

⑪ $91 - 8 \times (6 - 2)$

= _____
= _____ =

⑥ $45 + 11 - 25 - 12$

= _____
= _____ =

⑫ $35 - 17 + 7 \times 3$

= _____
= _____ =

かかった 時間 () 分 まちがい () こ 下線を ひいた？ ☐



計算のじゅんじょ⑤（しあげ）れんしゅう③

小4／計算の きまりをつかう 12もん

なまえ _____

ひづけ _____

計算の きまり

- ① $\times \cdot \div$ は、 $+$ $\cdot$ $-$ より 先に 計算する 下線の れい $30 - \underline{6 \times 3}$
- ② () が あれば、() の 中を いちばん 先に
- ③ 同じ なかまは、左から じゅんに 計算する
- ④ () の 中でも、 $\times \cdot \div$ は $+$ $\cdot$ $-$ より 先
- ⑤ はなれた $\times \cdot \div$ が 2つ あれば、いっしょに 1回で 計算してよい

どこから 計算するか 考えて、先に 計算する ところに 下線を ひき、とちゅうの 式を 書こう。

① $(3 + 9) \times 8 - 7 \times 2$

= _____
= _____ =

⑦ $70 - 12 + 4 \times 8$

= _____
= _____ =

② $67 - 28 + 14 - 13$

= _____
= _____ =

⑧ $48 - 5 \times (10 - 7)$

= _____
= _____ =

③ $37 - 33 + 3 \times 7$

= _____
= _____ =

⑨ $(24 - 17) \times 9 - 18 \div 6$

= _____
= _____ =

④ $90 - 5 \times (11 - 8)$

= _____
= _____ =

⑩ $80 - 40 - 39 + 35$

= _____
= _____ =

⑤ $98 - 38 + 28 - 30$

= _____
= _____ =

⑪ $3 \times (11 + 2 \times 9)$

= _____
= _____ =

⑥ $87 - 5 \times (20 - 4)$

= _____
= _____ =

⑫ $37 - 2 \times 7 + 33$

= _____
= _____ =

かかった 時間 () 分 まちがい () こ 下線を ひいた? ☐



計算のじゅんじょ⑤（しあげ）れんしゅう④

小4／計算の きまりをつかう 12もん

なまえ _____

ひづけ _____

計算の きまり

- ① $\times \cdot \div$ は、 $+$ $\cdot$ $-$ より 先に 計算する 下線の れい $30 - \underline{6} \times 3$
- ② () が あれば、() の 中を いちばん 先に
- ③ 同じ なかまは、左から じゅんに 計算する
- ④ () の 中でも、 $\times \cdot \div$ は $+$ $\cdot$ $-$ より 先
- ⑤ はなれた $\times \cdot \div$ が 2つ あれば、いっしょに 1回で 計算してよい

どこから 計算するか 考えて、先に 計算する ところに 下線を ひき、とちゅうの 式を 書こう。

① $(11 + 7) \times 3 - 4 \times 5$

= _____
= _____ =

⑦ $46 - 37 + 7 \times 2$

= _____
= _____ =

② $72 - 3 \times 2 + 38$

= _____
= _____ =

⑧ $98 - 9 \times (12 - 2)$

= _____
= _____ =

③ $(33 - 3 \times 5) \times 2$

= _____
= _____ =

⑨ $90 - 17 - 40 + 20$

= _____
= _____ =

④ $99 - 30 + 29 - 20$

= _____
= _____ =

⑩ $99 - (7 + 5) \times 2$

= _____
= _____ =

⑤ $87 - 6 \times 8 + 38$

= _____
= _____ =

⑪ $(49 - 14) \div 5 + 9 \times 6$

= _____
= _____ =

⑥ $47 - 2 \times (12 - 7)$

= _____
= _____ =

⑫ $62 - 13 - 35 + 31$

= _____
= _____ =

かかった 時間 () 分 まちがい () こ 下線を ひいた? ☐



計算のじゅんじょ⑤（しあげ）れんしゅう⑤

小4／計算の きまりを つかう 12もん

なまえ _____

ひづけ _____

計算の きまり

- ① $\times \cdot \div$ は、 $+$ $\cdot$ $-$ より 先に 計算する 下線の れい $30 - \underline{6} \times 3$
- ② () が あれば、() の 中を いちばん 先に
- ③ 同じ なかまは、左から じゅんに 計算する
- ④ () の 中でも、 $\times \cdot \div$ は $+$ $\cdot$ $-$ より 先
- ⑤ はなれた $\times \cdot \div$ が 2つ あれば、いっしょに 1回で 計算してよい

どこから 計算するか 考えて、先に 計算する ところに 下線を ひき、とちゅうの 式を 書こう。

① $84 - 2 \times (15 - 6)$

= _____
= _____ =

⑦ $(31 - 3 \times 7) \times 4$

= _____
= _____ =

② $81 - 12 + 6 \times 3$

= _____
= _____ =

⑧ $49 - 31 - 11 + 16$

= _____
= _____ =

③ $43 + 32 - 17 - 31$

= _____
= _____ =

⑨ $42 - 7 \times 3 + 25$

= _____
= _____ =

④ $5 \times (13 + 2 \times 3)$

= _____
= _____ =

⑩ $49 - 35 + 17 - 22$

= _____
= _____ =

⑤ $73 - 2 \times 5 + 30$

= _____
= _____ =

⑪ $79 - 2 \times (18 - 5)$

= _____
= _____ =

⑥ $25 + (60 - 18) \div 3$

= _____
= _____ =

⑫ $(33 - 5 \times 6) \times 8$

= _____
= _____ =

かかった 時間 () 分 まちがい () こ 下線を ひいた? ☐



計算のじゅんじょ⑤（しあげ）【こたえ】

小4／計算のきまりをつかう 12もん

なまえ _____

ひづけ _____

計算のきまり

- ① $\times \cdot \div$ は、 $+$ $\cdot$ $-$ より先に計算する
- ② () があれば、() の中をいちばん先に
- ③ 同じなかまは、左からじゅんに計算する
- ④ () の中でも、 $\times \cdot \div$ は $+$ $\cdot$ $-$ より先
- ⑤ はなれた $\times \cdot \div$ が2つあれば、いっしょに1回で計算してよい

下線のれい $30 - \underline{6 \times 3}$

どこから計算するか考えて、先に計算するところに下線をひき、とちゅうの式を書こう。

① $\underline{59 - 27} + 33 - 11$

$= 32 + 33 - 11$

$= 65 - 11 = \boxed{54}$

⑦ $92 - 5 \times \underline{(11 - 4)}$

$= 92 - 5 \times 7$

$= 92 - 35 = \boxed{57}$

② $58 - \underline{2 \times 8} + 18$

$= 58 - 16 + 18$

$= 42 + 18 = \boxed{60}$

⑧ $(26 - \underline{3 \times 6}) \times 4$

$= (26 - 18) \times 4$

$= 8 \times 4 = \boxed{32}$

③ $\underline{94 - 31} - 34 + 24$

$= 63 - 34 + 24$

$= 29 + 24 = \boxed{53}$

⑨ $57 - 31 + \underline{8 \times 3}$

$= 57 - 31 + 24$

$= 26 + 24 = \boxed{50}$

④ $54 - \underline{60 \div 5} - 24$

$= 54 - 12 - 24$

$= 42 - 24 = \boxed{18}$

⑩ $\underline{58 - 26} + 36 - 29$

$= 32 + 36 - 29$

$= 68 - 29 = \boxed{39}$

⑤ $75 - (\underline{4 + 9}) \times 5$

$= 75 - 13 \times 5$

$= 75 - 65 = \boxed{10}$

⑪ $(57 - \underline{5 \times 8}) \times 2$

$= (57 - 40) \times 2$

$= 17 \times 2 = \boxed{34}$

⑥ $(\underline{29 - 7}) \times 6 + 15 \div 5$

$= 22 \times 6 + 15 \div 5$

$= 132 + 3 = \boxed{135}$

⑫ $60 + (\underline{41 - 5}) \div 3$

$= 60 + 36 \div 3$

$= 60 + 12 = \boxed{72}$

丸つけのめやす／つまずきやすいところ

②を左からじゅんに計算すると466、⑧を()の中だけ左から計算すると552。

どの問題も、式の赤い下線（先に計算する所）が引けているかも見てください。

途中の式は、書き方や行の分け方がちがっても、計算する順が正しく答えが合っていれば正解です。

計算の じゅんじょ⑤ (しあげ) れんしゅう② 【こたえ】

なまえ _____

小4/計算の きまりをつかう 12もん

ひづけ _____

計算の きまり

- ① $\times \cdot \div$ は、 $+$ $\cdot$ $-$ より 先に 計算する 下線の れい $30 - \underline{6 \times 3}$
- ② () が あれば、() の 中を いちばん 先に
- ③ 同じ なかまは、左から じゅんに 計算する
- ④ () の 中でも、 $\times \cdot \div$ は $+$ $\cdot$ $-$ より 先
- ⑤ はなれた $\times \cdot \div$ が 2つ あれば、いっしょに 1回で 計算してよい

どこから 計算するか 考えて、先に 計算する ところに 下線を ひき、とちゅうの 式を 書こう。

① $(36 - \underline{4 \times 2}) \times 5$

$= (36 - 8) \times 5$

$= 28 \times 5 = 140$

⑦ $95 - \underline{5 \times 6} + 26$

$= 95 - 30 + 26$

$= 65 + 26 = 91$

② $\underline{81 - 14} - 23 + 13$

$= 67 - 23 + 13$

$= 44 + 13 = 57$

⑧ $73 - \underline{(6 + 3)} \times 2$

$= 73 - 9 \times 2$

$= 73 - 18 = 55$

③ $47 - \underline{(4 + 2)} \times 3$

$= 47 - 6 \times 3$

$= 47 - 18 = 29$

⑨ $\underline{34 + 35} - 11 - 22$

$= 69 - 11 - 22$

$= 58 - 22 = 36$

④ $96 - 11 + \underline{5 \times 6}$

$= 96 - 11 + 30$

$= 85 + 30 = 115$

⑩ $(52 - \underline{8 \times 5}) \times 2$

$= (52 - 40) \times 2$

$= 12 \times 2 = 24$

⑤ $\underline{(46 - 14)} \div 2 + 4 \times 8$

$= 32 \div 2 + 4 \times 8$

$= 16 + 32 = 48$

⑪ $91 - 8 \times \underline{(6 - 2)}$

$= 91 - 8 \times 4$

$= 91 - 32 = 59$

⑥ $\underline{45 + 11} - 25 - 12$

$= 56 - 25 - 12$

$= 31 - 12 = 19$

⑫ $35 - 17 + \underline{7 \times 3}$

$= 35 - 17 + 21$

$= 18 + 21 = 39$

丸つけの めやす/つまずきやすいところ

④を 左から じゅんに 計算すると 540、①を () の 中だけ 左から 計算すると 320。

どの 問題も、式の 赤い 下線 (先に 計算する 所) が 引けているかも 見てください。

途中の式は、書き方や行の分け方がちがっても、計算する順が正しく答えが合っていれば 正解です。

計算の きまり

- ① $\times \cdot \div$ は、 $+$ $\cdot$ $-$ より 先に 計算する 下線の れい $30 - \underline{6 \times 3}$
- ② () が あれば、() の 中を いちばん 先に
- ③ 同じ なかまは、左から じゅんに 計算する
- ④ () の 中でも、 $\times \cdot \div$ は $+$ $\cdot$ $-$ より 先
- ⑤ はなれた $\times \cdot \div$ が 2つ あれば、いっしょに 1回で 計算してよい

どこから 計算するか 考えて、先に 計算する ところに 下線を ひき、とちゅうの 式を 書こう。

① $\underline{(3 + 9)} \times 8 - 7 \times 2$

$= 12 \times 8 - 7 \times 2$

$= 96 - 14 = \boxed{82}$

⑦ $70 - 12 + \underline{4 \times 8}$

$= 70 - 12 + 32$

$= 58 + 32 = \boxed{90}$

② $\underline{67 - 28} + 14 - 13$

$= 39 + 14 - 13$

$= 53 - 13 = \boxed{40}$

⑧ $48 - 5 \times \underline{(10 - 7)}$

$= 48 - 5 \times 3$

$= 48 - 15 = \boxed{33}$

③ $37 - 33 + \underline{3 \times 7}$

$= 37 - 33 + 21$

$= 4 + 21 = \boxed{25}$

⑨ $\underline{(24 - 17)} \times 9 - 18 \div 6$

$= 7 \times 9 - 18 \div 6$

$= 63 - 3 = \boxed{60}$

④ $90 - 5 \times \underline{(11 - 8)}$

$= 90 - 5 \times 3$

$= 90 - 15 = \boxed{75}$

⑩ $\underline{80 - 40} - 39 + 35$

$= 40 - 39 + 35$

$= 1 + 35 = \boxed{36}$

⑤ $\underline{98 - 38} + 28 - 30$

$= 60 + 28 - 30$

$= 88 - 30 = \boxed{58}$

⑪ $3 \times (\underline{11 + 2 \times 9})$

$= 3 \times (11 + 18)$

$= 3 \times 29 = \boxed{87}$

⑥ $87 - 5 \times \underline{(20 - 4)}$

$= 87 - 5 \times 16$

$= 87 - 80 = \boxed{7}$

⑫ $37 - \underline{2 \times 7} + 33$

$= 37 - 14 + 33$

$= 23 + 33 = \boxed{56}$

丸つけの めやす/つまずきやすいところ

③を 左から じゅんに 計算すると 49、①を () の 中だけ 左から 計算すると 178。

どの 問題も、式の 赤い 下線 (先に 計算する 所) が 引けているかも 見てください。

途中の式は、書き方や行の分け方がちがっても、計算する順が正しく答えが合っていれば 正解です。

計算の きまり

- ① $\times \cdot \div$ は、 $+$ $\cdot$ $-$ より 先に 計算する 下線の れい $30 - \underline{6 \times 3}$
- ② () が あれば、() の 中を いちばん 先に
- ③ 同じ なかまは、左から じゅんに 計算する
- ④ () の 中でも、 $\times \cdot \div$ は $+$ $\cdot$ $-$ より 先
- ⑤ はなれた $\times \cdot \div$ が 2つ あれば、いっしょに 1回で 計算してよい

どこから 計算するか 考えて、先に 計算する ところに 下線を ひき、とちゅうの 式を 書こう。

① $(\underline{11 + 7}) \times 3 - 4 \times 5$

$= 18 \times 3 - 4 \times 5$

$= 54 - 20 = \boxed{34}$

⑦ $46 - 37 + \underline{7 \times 2}$

$= 46 - 37 + 14$

$= 9 + 14 = \boxed{23}$

② $72 - \underline{3 \times 2} + 38$

$= 72 - 6 + 38$

$= 66 + 38 = \boxed{104}$

⑧ $98 - 9 \times (\underline{12 - 2})$

$= 98 - 9 \times 10$

$= 98 - 90 = \boxed{8}$

③ $(33 - \underline{3 \times 5}) \times 2$

$= (33 - 15) \times 2$

$= 18 \times 2 = \boxed{36}$

⑨ $\underline{90 - 17} - 40 + 20$

$= 73 - 40 + 20$

$= 33 + 20 = \boxed{53}$

④ $\underline{99 - 30} + 29 - 20$

$= 69 + 29 - 20$

$= 98 - 20 = \boxed{78}$

⑩ $99 - (\underline{7 + 5}) \times 2$

$= 99 - 12 \times 2$

$= 99 - 24 = \boxed{75}$

⑤ $87 - \underline{6 \times 8} + 38$

$= 87 - 48 + 38$

$= 39 + 38 = \boxed{77}$

⑪ $(\underline{49 - 14}) \div 5 + 9 \times 6$

$= 35 \div 5 + 9 \times 6$

$= 7 + 54 = \boxed{61}$

⑥ $47 - 2 \times (\underline{12 - 7})$

$= 47 - 2 \times 5$

$= 47 - 10 = \boxed{37}$

⑫ $\underline{62 - 13} - 35 + 31$

$= 49 - 35 + 31$

$= 14 + 31 = \boxed{45}$

丸つけの めやす/つまずきやすいところ

②を 左から じゅんに 計算すると 176、①を () の 中だけ 左から 計算すると 250。

どの 問題も、式の 赤い 下線 (先に 計算する 所) が 引けているかも 見てください。

途中の式は、書き方や行の分け方がちがっても、計算する順が正しく答えが合っていれば 正解です。

計算の じゅんじょ⑤ (しあげ) れんしゅう⑤ 【こたえ】

なまえ _____

小4/計算の きまりを つかう 12もん

ひづけ _____

計算の きまり

- ① $\times \cdot \div$ は、 $+$ $\cdot$ $-$ より 先に 計算する 下線の れい $30 - \underline{6 \times 3}$
- ② () が あれば、() の 中を いちばん 先に
- ③ 同じ なかまは、左から じゅんに 計算する
- ④ () の 中でも、 $\times \cdot \div$ は $+$ $\cdot$ $-$ より 先
- ⑤ はなれた $\times \cdot \div$ が 2つ あれば、いっしょに 1回で 計算してよい

どこから 計算するか 考えて、先に 計算する ところに 下線を ひき、とちゅうの 式を 書こう。

① $84 - 2 \times \underline{(15 - 6)}$

$= 84 - 2 \times 9$

$= 84 - 18 = \boxed{66}$

⑦ $(31 - \underline{3 \times 7}) \times 4$

$= (31 - 21) \times 4$

$= 10 \times 4 = \boxed{40}$

② $81 - 12 + \underline{6 \times 3}$

$= 81 - 12 + 18$

$= 69 + 18 = \boxed{87}$

⑧ $\underline{49 - 31} - 11 + 16$

$= 18 - 11 + 16$

$= 7 + 16 = \boxed{23}$

③ $\underline{43 + 32} - 17 - 31$

$= 75 - 17 - 31$

$= 58 - 31 = \boxed{27}$

⑨ $42 - \underline{7 \times 3} + 25$

$= 42 - 21 + 25$

$= 21 + 25 = \boxed{46}$

④ $5 \times (\underline{13 + 2 \times 3})$

$= 5 \times (13 + 6)$

$= 5 \times 19 = \boxed{95}$

⑩ $\underline{49 - 35} + 17 - 22$

$= 14 + 17 - 22$

$= 31 - 22 = \boxed{9}$

⑤ $73 - \underline{2 \times 5} + 30$

$= 73 - 10 + 30$

$= 63 + 30 = \boxed{93}$

⑪ $79 - 2 \times \underline{(18 - 5)}$

$= 79 - 2 \times 13$

$= 79 - 26 = \boxed{53}$

⑥ $25 + \underline{(60 - 18)} \div 3$

$= 25 + 42 \div 3$

$= 25 + 14 = \boxed{39}$

⑫ $(33 - \underline{5 \times 6}) \times 8$

$= (33 - 30) \times 8$

$= 3 \times 8 = \boxed{24}$

丸つけの めやす/つまずきやすいところ

②を 左から じゅんに 計算すると 225、④を () の 中だけ 左から 計算すると 225。

どの 問題も、式の 赤い 下線 (先に 計算する 所) が 引けているかも 見てください。

途中の式は、書き方や行の分け方がちがっても、計算する順が正しく答えが合っていれば 正解です。